

事業シート(令和6年度決算)

事業名	11100 営業費用(原水及び浄水費、配水及び給水費、総係費、減価償却費他)	予算	会計	16	水道事業会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	水道ビジョン・経営戦略、過疎地域持続的発展計画
			款	1	水道事業費用			ポイント			
			項	1	営業費用		分野別	政策分野	3 都市基盤・防災・景観		
			目				施策分野	(5) 上水道・下水道			
担当課	水道部 上水道課	内線	2254							市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 便利で強い社会基盤を整備します

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・安全で安心な水を安定して供給する。	概要	・水道料金収納率の向上により資金を確保する。 ・予防的な修繕等の実施により施設の延命化を図る。 ・指定管理者制度により民間の創意工夫を活用し水道サービスの向上を図る。 ・高山市水道水源保全条例に基づき水源地域を保全する。
----	--------------------	----	---

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標
上水道基幹管路の耐震化率	32.9%	35.2%	35%
上水道の有収率	70.46%	71.31%	85%
「安全でおいしい水が提供され、汚水対策が適切に行われている」と感じていう市民の割合	90.0%	89.3	／

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			(千円)
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		1,741,816	1,667,170	1,746,765	1,746,765	1,710,285	43,115
特定財源	国費 ()						
	県費 ()						
	その他()						
一般財源		1,741,816	1,667,170	1,746,765	1,746,765	1,710,285	43,115
新規・拡充	主な事業内容						
	指定管理委託料	526,550	492,250	520,100	520,100	516,421	24,171
	水道施設修繕費	105,000	79,780	96,900	96,900	82,085	2,305
	量水器取替委託	19,000	18,220	35,800	35,800	34,425	16,205
	減価償却費	945,823	937,414	946,384	946,384	935,868	△ 1,546
	資産減耗費	24,651	27,204	13,496	13,496	17,642	△ 9,562
○ 1	漏水リスク調査			6,200	6,200	6,050	6,050

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・水道料金現年度分収納率 99.3% ・給水原価 165.77円/㎡ ・給水人口 81,825人 ・有収率 70.46% ・給配水管修繕 176件
評価等	・水道管の老朽化に伴い、有収率が悪化している。 ・減価償却費の増加に伴い、給水原価が上昇した。 ・業務用途の水需要が回復傾向にあるものの、人口減少による生活用の水需要の減少により、水道料金収入で、水を供給する費用を賄うことができない「原価割れ」の状況に陥っており、厳しい経営状況が続いている。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定 ・安全安心な水道水の安定供給に向けて、A Iを活用した漏水リスク調査の活用など効率的な漏水調査や管路修繕により有収率の向上に努める。 ・公営企業として収入を確保し受益者負担の公平性も確保する観点から、できる限りの徴収努力と債権の適正管理に努める。

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・水道料金現年度分収納率 99.4% ・給水原価 168.71円/㎡ ・給水人口 80,994人 ・有収率 71.31% ・給配水管修繕 182件
評価等	・水道管の老朽化に伴い、有収率が年々低下していたが、今年度は改善した。 ・検定替え費用の増加に伴い、給水原価が上昇した。 ・宿泊施設など業務用途の水需要が増加したものの、人口減少による生活用の水需要の減少により、水道料金収入で、水を供給する費用を賄うことができない「原価割れ」の状況に陥っており、厳しい経営状況が続いている。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定 ・安全安心な水道水の安定供給に向けて、A Iを活用した漏水リスク調査の活用など効率的な漏水調査や管路修繕により有収率の向上に努める。 ・公営企業として収入を確保し受益者負担の公平性も確保する観点から、できる限りの徴収努力と債権の適正管理に努める。

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	1,738,620
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
1,730,528	1,738,620	1,738,620	△ 8,145
1,730,528	1,738,620	1,738,620	△ 8,145
査定額	説明		
528,420			
92,400			
33,500			
935,051			
18,023			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・施設管理に必要な経費を計上 ・老朽化した設備、配水管等の修繕に必要な経費を計上 ・水道料金の収納に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定の 考え方	・財務部査定のとおり

主要事業個票(令和6年度決算)

n_上水道課.xlsx_2

事業名	11100 営業費用(原水及び浄水費、配水及び給水費、総係費、減価償却費他)	区分	☐ R5新規	☒ R6新規	予算	会計	16	水道事業会計	担当課	水道部上水道課
			☐ R5拡充	☐ R6拡充		款	1	水道事業費用		
枝番・内容	1 漏水リスク調査		☐ その他重要事業			項	1	営業費用	内線	2259
			☐			目			作成年月	R7.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・安全で安心な水を安定して供給する	概要	・AIを活用した漏水リスク調査により、効率的な漏水調査や管路修繕を行い有収率の向上に努める
----	-------------------	----	---

[参考] R5決算(Do・Check) R6.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] R6当初予算(Action) R6.3時点 (千円)

予算額	当初	6,200
主な経費	・委託料	
対前年度増減額(当初予算)		6,200

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)

R6決算(Do・Check) R7.8時点 (千円)

予算額	当初	6,200
	繰越	
	補正等	
	最終	6,200
決算額		6,050
対前年度増減額(決算)		6,050

R7当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等		
[事業実績]		
[評価等]		
次年度以降 の考え方 (担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
・AIを活用した漏水リスク調査	
[スケジュール]	
6月～9月 調査委託	

事業実績、評価等		
[事業実績]		
・AIを活用した漏水リスク調査 ・市内全域を調査し、リスク1からリスク5に分類		
[評価等]		
・今後実施する漏水調査範囲の選定、優先して老朽管更新を行うべき管路選定に活用するデータを取得できた。		
次年度以降 の考え方 (担当課)	短期的サイクルでの再調査	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☒ R6完了 ☐ R7完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	

n_上水道課.xlsx_2

事業シート(令和6年度決算)

事業名	12100 営業外費用(支払利息、消費税、雑支出、特別損失)	予算	会計	16	水道事業会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	水道ビジョン・経営戦略、過疎地域持続的発展計画
			款	1	水道事業費用			ポイント				
			項	2	営業外費用		分野別	政策分野				市長公約
			目					施策分野				強く! ~自然と向き合い暮らす強さ~ 便利で強い社会基盤を整備します
担当課	水道部 上水道課	内線	2254									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・安全で安心な水を安定して供給する。	概要	・上水道施設整備に伴い起こした企業債の利子償還等
----	--------------------	----	--------------------------

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標
上水道基幹管路の耐震化率	32.9%	35.2%	35%
上水道の有収率	70.46%	71.31%	85%

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			(千円)
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		140,894	125,736	126,784	126,784	76,348	△ 49,388
特定財源	国費 ()						
	県費 ()						
	その他()						
一般財源		140,894	125,736	126,784	126,784	76,348	△ 49,388
新規・拡充	主な事業内容						
	企業債利息	82,544	80,720	81,434	81,434	76,169	△ 4,551
	消費税	57,000	44,829	45,000	45,000	0	△ 44,829

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	-
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
123,492	122,492	122,492	△ 4,292
123,492	122,492	122,492	△ 4,292
査定額	説明		
77,142			
45,000			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・上水道施設整備に伴い起こした企業債の利子償還
評価等	・企業債の発行額を企業債元金償還金を下回るよう努めていることに加え、企業債の利率が低利となっているため、利子負担は軽減されている。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定 ・引き続き、企業債の発行額を企業債元金償還金を下回るよう計画的な資金調達に努め、利子負担の軽減を図る。

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・上水道施設整備に伴い起こした企業債の利子償還
評価等	・企業債の発行額を企業債元金償還金を下回るよう努めていることに加え、企業債の利率が低利となっているため、利子負担は軽減されている。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定 ・引き続き、企業債の発行額を企業債元金償還金を下回るよう計画的な資金調達に努め、利子負担の軽減を図る。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・企業債の計画的な資金調達に必要な経費を計上
---------------------	------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和6年度決算)

事業名	21100 原水及び浄水施設費	予算	会計	16	水道事業会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	水道ビジョン・経営戦略、過疎地域持続的発展計画
			款	1	資本的支出			ポイント				
			項	1	建設改良費		分野別	政策分野	3	都市基盤・防災・景観		
			目	1	原水及び浄水施設費		施策分野	(5)	上水道・下水道			
担当課	水道部 上水道課	内線	2254								市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 便利で強い社会基盤を整備します

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・安全で安心な水を安定して供給する。	概要	・取水・浄水設備の更新を行う。
----	--------------------	----	-----------------

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標
上水道基幹管路の耐震化率	32.9%	35.2%	35%
上水道の有収率	70.46%	71.31%	85%

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			(千円)
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		367,976	209,206	873,766	1,027,266	649,526	440,320
特定財源	国費 (高度浄水施設等整備費国庫補助 1/4、防災・安全交付金 1/3)	13,000	1,250	175,000	175,000	117,500	116,250
	県費 ()						
	その他(出資金、企業債)	109,200	98,775	303,300	344,500	244,202	145,427
一般財源		245,776	109,181	395,466	507,766	287,824	178,643
新規・拡充	主な事業内容						
○ 1	紫外線処理施設整備(継続費R5～R7)	61,500	5,000	781,500	838,000	475,703	470,703
	遠方監視装置整備	63,000	59,205	17,500	17,600	17,600	△ 41,605
	浄水施設設備更新	177,700	136,842	67,500	164,400	152,545	15,703
	導水管路耐震化整備	55,000	0				
	配水区域再編整備	5,200	3,520	5,300	5,300	2,275	△ 1,245
	水道施設統廃合計画策定業務	3,600	2,860				△ 2,860

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	303,965
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
305,465	303,965	303,965	△ 569,801
40,000	40,000	40,000	△ 135,000
55,000	55,000	55,000	△ 248,300
210,465	208,965	208,965	△ 186,501
査定額	説明		
142,000			
58,000			
75,000			
25,000			
2,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・片野浄水場水道施設整備 ・上野浄水場ろ過設備更新 ほか
評価等	・更に効率的で安全な施設となるよう水需要を見極め、管理コストの縮減につながるよう老朽化対策や耐震化、施設のダウンサイジングを進める必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	・水道ビジョン・経営戦略に基づき、施設整備、改良を進めるとともに、ダウンサイジングにより効率化を図る。 ・配水池等の耐震化事業を実施するとともに、老朽化した機器等を更新する。 ・施設・設備の更新・修繕は、予防保全と対症保全により実施する。 ・自然流下方式の活用など配水区域の再編に向けた検討を進める。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・片野浄水場水道施設整備 ・蔵柱浄水場制御盤更新 ほか
評価等	・更に効率的で安全な施設となるよう水需要を見極め、管理コストの縮減につながるよう老朽化対策や耐震化、施設のダウンサイジングを進める必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	・水道ビジョン・経営戦略に基づき、施設整備、改良を進めるとともに、ダウンサイジングにより効率化を図る。 ・配水池等の耐震化事業を実施するとともに、老朽化した機器等を更新する。 ・施設・設備の更新・修繕は、予防保全と対症保全により実施する。 ・自然流下方式の活用など配水区域の再編に向けた検討を進める。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・紫外線処理施設整備に必要な経費を計上 ・老朽化した機器等の更新に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

主要事業個票(令和6年度決算)

n_上水道課.xlsx_5

事業名	21100 原水及び浄水施設費	区分	☐ R5新規	☐ R6新規	予算	会計	16	水道事業会計	担当課	水道部上水道課
			☐ R5拡充	☐ R6拡充		款	2	資本的支出		
枝番・内容	1 紫外線処理施設整備		☒ その他重要事業			項	1	建設改良費	内線	2259
			☐			目	1	原水及び浄水施設費	作成年月	R7.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・安全で安心な水を安定して供給する	概要	・紫外線処理施設による浄水機能強化
----	-------------------	----	-------------------

[参考] R5決算(Do・Check) R6.8時点 (千円)

予算額	当初	61,500
	繰越	
	補正等	
	最終	61,500
決算額		5,000
対前年度増減額(決算)		△ 39,238

[参考] R6当初予算(Action) R6.3時点 (千円)

予算額	当初	781,500
主な経費	・紫外線処理施設の認可・設計	
対前年度増減額(当初予算)		720,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)

R6決算(Do・Check) R7.8時点 (千円)

予算額	当初	781,500
	繰越	56,500
	補正等	
	最終	838,000
決算額		475,703
対前年度増減額(決算)		470,703

R7当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	142,000
主な経費	・委託料 ・工事請負費	
対前年度増減額(当初予算)		△ 639,500

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等		
[事業実績]		
・宮水源紫外線処理施設の整備工事(R5～R7継続費)		
[評価等]		
・建築工事及び水道施設工事を発注し整備工事を進めている		
次年度以降の考え方(担当課)	・浄水処理機能を強化することにより、水質等の安全性を向上させる。	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
・宮水源紫外線処理施設の整備工事(R5～R7継続費)	
[スケジュール]	
R6 建築工事完了 R7 整備工事完了	

事業実績、評価等		
[事業実績]		
・宮水源紫外線処理施設の整備工事(R5～R7継続費)		
[評価等]		
・引き続き建築工事及び水道施設工事を進めている		
次年度以降の考え方(担当課)	・浄水処理機能を強化することにより、水質等の安全性を向上させる。	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☒ R7完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
・宮水源紫外線処理施設の整備工事(R5～R7継続費)	
[スケジュール]	

事業シート(令和6年度決算)

事業名	21200 配水施設拡張費	予算	会計	16	水道事業会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	水道ビジョン・経営戦略、過疎地域持続的発展計画
			款	1	資本的支出			ポイント			
			項	1	建設改良費		分野別	政策分野	3		
			目	2	配水施設拡張費			施策分野	(5)		
担当課	水道部 上水道課	内線	2254							市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 便利で強い社会基盤を整備します

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・安全で安心な水を安定して供給する。	概要	・配水施設の拡張整備を行う。 ・水道未給水地域解消のための助成制度に基づき、配水管整備を実施する。
----	--------------------	----	--

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標
上水道基幹管路の耐震化率	32.9%	35.2%	35%
上水道の有収率	70.46%	71.31%	85%

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			(千円)
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		67,069	52,183	37,227	37,227	6,070	△ 46,113
特定財源	国費 ()						
	県費 ()						
	その他(企業債)						
一般財源		67,069	52,183	37,227	37,227	6,070	△ 46,113
新規・拡充	主な事業内容						
	一般受託工事	55,000	50,796	25,000	25,000	4,567	△ 46,229
	未給水地区解消工事	10,000	0	10,000	10,000	0	

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	37,163
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
37,143	37,163	37,163	△ 64
37,143	37,163	37,163	△ 64
査定額	説明		
25,000			
10,000			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・一般受託工事 L=1,033m(関連工事含む)
評価等	・更に効率的で安全な施設となるよう水需要を見極め、管理コストの縮減につながる配水区域の再編や 老朽化対策、耐震化等を進める必要がある。
次年度 以降の 考え方 (担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定 ・水道ビジョン・経営戦略に基づき、施設整備・改良を進める。 ・配水施設整備の実施と未給水地域の解消に努める。

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・一般受託工事 L=94m
評価等	・更に効率的で安全な施設となるよう水需要を見極め、管理コストの縮減につながる配水区域の再編や 老朽化対策、耐震化等を進める必要がある。
次年度 以降の 考え方 (担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定 ・水道ビジョン・経営戦略に基づき、施設整備・改良を進める。 ・配水施設整備の実施と未給水地域の解消に努める。

担当課 予算要求 ポイント	・配水施設の拡張整備に必要な経費を計上
---------------------	---------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和6年度決算)

事業名	21300 施設改良費	予算	会計	16	水道事業会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	水道ビジョン・経営戦略、過疎地域持続的発展計画
			款	1	資本的支出			ポイント				
			項	1	建設改良費		分野別	政策分野	3	都市基盤・防災・景観		
			目	3	施設改良費		施策分野	(5)	上水道・下水道			
担当課	水道部 上水道課	内線	2254								市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 便利で強い社会基盤を整備します

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・安全で安心な水を安定して供給する。	概要	・老朽管等の更新整備を行う。 ・基幹管路の耐震化整備を行う。
----	--------------------	----	-----------------------------------

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標
上水道基幹管路の耐震化率	32.9%	35.2%	35%
上水道の有収率	70.46%	71.31%	85%

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			(千円)
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		850,905	500,201	539,351	856,351	709,004	208,803
特定財源	国費 (防災・安全交付金 1/3)			30,000	30,000	0	
	県費 (生活基盤施設耐震化等交付金 1/3)	130,000	70,000	0	60,000	64,333	△ 5,667
	その他(企業債)	300,000	226,400	300,000	300,000	234,900	8,500
一般財源		420,905	203,801	209,351	466,351	409,771	205,970
新規・拡充	主な事業内容						
	配水管基幹管路耐震化整備	560,000	293,275	200,000	460,000	336,809	43,534
	道路改良に伴う配水管布設替	156,000	107,532	73,000	130,000	58,723	△ 48,809
	老朽管布設替	129,000	95,063	262,000	262,000	309,618	214,555
	下水道工事に伴う配水管布設替	1,600	1,262				△ 1,262

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	574,066
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
576,966	574,066	574,066	34,715
10,000	10,000	10,000	△ 20,000
300,000	300,000	300,000	0
266,966	264,066	264,066	54,715
査定額	説明		
110,000			
280,000			
180,000			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・老朽化対策及び道路改良に伴う配水管布設替 L=2,138m ・基幹管路耐震化 L=1,243m ・基幹管路耐震化率 32.9%
評価等	・更に効果的で安全な施設となるよう水需要を見極め、管理コストの縮減につながるよう老朽化対策や耐震化等を進める必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定 ・水道ビジョン・経営戦略に基づき、施設整備、改良を進めるとともに、ダウンサイジングにより効率化を図る。 ・地理情報システム(GIS)を活用し、水道施設の計画的な更新など適切な資産管理を行う。

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・老朽化対策及び道路改良に伴う配水管布設替 L=3,791m ・基幹管路耐震化 L=1,999m ・基幹管路耐震化率 35.2%
評価等	・更に効果的で安全な施設となるよう水需要を見極め、管理コストの縮減につながるよう老朽化対策や耐震化等を進める必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定 ・水道ビジョン・経営戦略に基づき、施設整備、改良を進めるとともに、ダウンサイジングにより効率化を図る。 ・地理情報システム(GIS)を活用し、水道施設の計画的な更新など適切な資産管理を行う。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・基幹管路耐震化整備に必要な経費を計上 ・道路改良等に必要な経費を計上 ・老朽管布設替に必要な経費を計上
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和6年度決算)

事業名	21400 営業設備費、有形固定資産購入費	予算	会計	16	水道事業会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	水道ビジョン・経営戦略、過疎地域持続的発展計画
			款	1	資本的支出			ポイント				
			項	1	建設改良費		分野別	政策分野				
			目	4.5	営業設備費・有形固定資産購入費			施策分野				市長公約 強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 便利で強い社会基盤を整備します
担当課	水道部 上水道課	内線	2254									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・安全で安心な水を安定して供給する。	概要	・量水器を設置する。
----	--------------------	----	------------

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標
上水道の有収率	70.46%	71.31%	85%

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			(千円)
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		42,200	36,622	4,000	4,000	1,532	△ 35,090
特定財源	国費 (補助率 1/4)		8,750				△ 8,750
	県費 ()						
	その他(出資金)		13,266				△ 13,266
一般財源		42,200	14,606	4,000	4,000	1,532	△ 13,074
新規・拡充	主な事業内容						
	庫出量水器	4,000	1,341	4,000	4,000	1,532	191
	器具購入	2,200	0				
	水道施設用地購入	36,000	35,281				△ 35,281

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	-
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
4,470	4,470	4,470	470
4,470	4,470	4,470	470
査定額	説明		
4,000			
470			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・新規開栓及び再開栓による量水器の庫出 ・紫外線処理施設用地の購入
評価等	・紫外線処理施設の整備に必要な用地を確保することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定 ・引き続き、水の安全を確保できるよう様々な事態に対処できる体制を整える。

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・新規開栓及び再開栓による量水器の庫出
評価等	新規開栓及び再開栓に必要な量水器を計上した。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定 ・引き続き、水の安全を確保できるよう様々な事態に対処できる体制を整える。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・新規開栓及び再開栓に必要な経費を計上 ・水質管理に必要な器具購入費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり